

市民との意見交換会会議録

報告日及び報告者 平成26年11月5日 菅野健治

1. 日 時 平成26年11月5日（水）午後6時30分～午後8時30分
2. 場 所 高木地区公民館
3. 出席議員 菅野健治、次藤栄、佐々木広文、伊藤隆一、矢島義謙、作田博（6名）
4. 出席市民 9名
5. 会議経過

【午後6時30分開会】

◇矢島議員 開会・司会

◇作田議長 挨拶

本宮小学校区で今回高木地区公民館にて行う。主旨は市民と直接意見交換し市政に反映したいため。議会活性化特別委員会を作り、議本条例・倫理規定をつくり来年7月改選までには決定する。

執行権がないのでその点をご理解頂きたい。

（その後、出席議員が各自氏名、所属常任委員会、出身地の自己紹介を行い報告に入る）

【報告】

◇次藤議員

市議会の構成、定例会・臨時会の審議の概要、会派制と政務活動費についての報告を行う。報告の後質疑を行う。

《質疑・要旨》

問（市民）市民の会で政務活動費を頂いていない議員の理由は。

◇伊藤議員

市民の会では国分議員が政務活動費の交付を受けている。

国分議員を含め私たちは昨年まで無会派でした。市民の会は今年、会派を結成した。

個人的な意見であるが職員幹部は、給与を5%カットされているので、議員も同様に政務活動費を頂いていない。しかし、議員活動は同じく行っている。

問（市民）

政務活動費は少ない額でありながら良くやっている。広報費・切手ハガキなどの郵便費用がかかると思うが経費で行っているのか。

◇矢島議員

個人個人の議員報酬の中で行っている。市民の会はそれぞれの考えがある。当面の間、職員とともに痛み分けをしている。

問（市民）

各議員の判断か

◇矢島議員

個人の判断で行っている。市民の会以外の各会派の政務活動費の使途についても同僚議員から紹介する。

◇佐々木議員

私は、議員7名で結成している会派『みらい創和会』に所属しており、会派に対し交付を受けている。平成25年度は84万円の交付があり、会派広報紙2回の発行と、国会議員（根本匠議員・森まさこ議員）へ陳情・請願を行った。

常任委員会の研修では、活動に限界があるため、政務活動費を活用している。

昨年度は、3月に総会を開催しており活動費は3月31日に報告している。

交付を受けた政務活動費だけで活動を行っているのではなく、個人の議員報酬からも個人負担し、活動に対し支出している。

本年度は国民健康保険税に関する調査で、健康の取り組み方に関し、青森県十和田市へ視察研修を行った。

◇次藤議員

私も、『みらい創和会』に所属し、会派として政務活動費を頂いている。

活動について説明する。まず、復興大臣・少子化担当大臣へ陳情要望をしている。内容は、①早期の中間貯蔵施設の設置 ②道路・農業用水路の除染の加速化の推進 ③自己除染した経費を支払いの賠償 ④高木前田地区の仮置場にして頂き現地の瓦礫を処分の件 ⑤震災復興立地企業の補助金の延長 を要望した。震災から2年余り経過しているが、平時はなかなか会えない政務官に、短時間ではなく1時間も会って要望内容を詳しく聞いて頂いた。

本年度は、十和田市の国保財政について視察研修を行った。内容は、重複診療費の削減対策についてである。また、広報誌など出している。

◇作田議長

私は、会派に所属していないので個人で交付を受け、活動に利用している。昨年度は、みらい創和会と合同で国会議員へ陳情に行った。特措法が制定される前の個人除染費用の

賠償を要望したところ、やりますとの回答を頂いた。

また、常任委員会が4つあるが、総務なら総務の問題しか調査できないところ、政務活動費を利用すると、他の常任委員会の問題も自由に調査を行える。さらに、本宮市議会だけでなく他自治体の議員とも一緒に調査が出来る。現在、議会改革をしているため、地方議会改革に関する書籍を購入し、著者の講演会にも国分勝広議員と同行し受講した。

昨年度は、残金の4万7845円の残金は返金している。

◇菅野議員

私は、新風会の会計責任者として6名分の72万円の管理をしているが、本来はこれ以上の支出している。交付金を超える支出金額については、議員報酬にて対応している。

活動内容は、世田谷区のNPO法人の屋内・屋外遊び場の状況を視察をした。浪江町の現状を視察・説明を受けてきた。東北電力女川原子力発電所へ行き所長から津波対策、当時の震災の状況の説明を聞いてきた。

本年度は、川越市に行き、地域包括ケアシステムの視察、東京日本橋のミデッテ（福島のアテナショップ）地元の製品の販売状況及び、本宮駅周辺整備に関して橋上駅の東武東上線朝霞台の視察を行った。視察した次の議会で担当者による一般質問をしている。

半年に1回広報紙発行し新聞折り込みにより配布し会派の報告を含め、市政を正している。金額の大小の意見があるが、近隣地への視察には新幹線を利用せず、車の乗り合わせをして交通費を節約している。

問（市民）

政務活動費は、本来の目的の為に使うべきである。年額12万円は、適切な形で判断し、利用して頂きたい。

問（市民）

高木地区を水害から守る会で郡山富久山に視察研修を行った。当会は、活動費の全部を自費で運営している。懇親会も行っている。研修した結果、郡山はこんなに素晴らしいことをやっているんだなと感じた。本宮市も内水害に関し、もう少し大きな施設を設置し、水害を無くし、市民を安心させて頂きたい。

議員の視察研修は、大いに市の発展に役立ててほしい。

問（市民）

要望ですが、定例議会、臨時議会、日程、議会だよりの内容が分からない。定例会・議会の内容を分かりやすく伝えるために、専門的な言葉を使用しないで欲しい。

本宮市のインターネットを見ても分からないし出ていない。分かってもらえる議会を示すよう努力して頂きたい。若い人はどんどん離れていく。どうしたら分かって頂けるか努

力して頂きたい。

問（市民）

河川敷にパークゴルフ場が設置されると聞いているが、期成同盟会としては、川幅はなるだけ広く使うように要望している。同盟会の総会の時期に市民要請を受けているのは、金丸さんの後ろのあたりに堤防をつくるのために河川敷に仮設道路を作った。本宮町の時にだが。その残土を全部引き上げてもらいたいと要望されている。そんな中で、その向かいの大きく盛土のところにゴルフ場を設置することには、疑問を持っている。その審議をしたとは聞いていない。

もうひとつ、高木地区の道路が出来るので、公民館の移設地が決まったと聞いているが、この議会報告書の中では審議したことは一切出ていないが、その辺のことは、どのような進んでいるのか教えてほしい。

◇作田議長

パークゴルフ場については賛否があった。結果的には賛成多数で決定した。水辺の学校など、福島市の方でもいろいろある。旧建設省でもそういった事をやってきて、今、国土交通省になったが、パークゴルフ場は運動公園の方に作ったら良いのではという意見もあった。今、仮設住宅になっていてできない。そういう中で、河川改修と共にパークゴルフ場の話が出てきた。本宮市議会としては最終的には賛成となった。

公民館の移築については、合併支援道路の整備は県が10年以内に行うという当初の約束がずれ込んでいて、今回整備がすすめられると県から話があった。公民館の候補地は市民の意見を聞くべきと思うが、市議会にも協議事項ではなく報告事項で示されたのみ。

現在、候補地の調査が行われており、間もなく補償金額等の費用が示される。今後、議会にて賛否が出るものと思われる。現在の状況は以上である。

【意見交換会】「定住人口増加の取り組みについて」

◇佐々木議員

本市では32000人を目標にしているが合併後に人口減が進んでいる、平成24年3月31日100人、平成25年3月30895人、平成26年3月30638人と激減している。定住人口の増加をどのように進めるか、問題提起ではあるが子育て環境、住宅問題、各コミュニティの問題、企業誘致の問題があるかと思うが、皆様よりご意見を頂きたい。

※参加者より意見はありませんでした。

【意見交換会】「地域の助け合いについて」

問（市民）

社会福祉協議会、小地域ネットワークがあるが、町内会・民生委員・社協にも限界がある。新聞がたまっているとか、カーテンが閉まりきっているとか、ネットワークを作らないとなかなか出来ない状況である。災害時、地球温暖化の中で高齢者が安心して生活しやすい環境を整備すべき、災害時に避難する際背負って逃げるとか、サロンを作っているがたくさん作るべきでないか。

◇佐々木議員

2月には大雪があり、除雪に関して大変迷惑をかけた。除雪に関して本宮地区425路線、白沢地区701路線、それぞれ5台の除雪機で対応したが、なかなか進まなかった。万が一の救急車も入らない状況では困る。地域での助けあい共助が必要と感じる。皆様の意見をお聞きしたい。

問（市民）

人が集まる施設が古い。特にトイレの洋式化が進んでいない。金銭的な問題はあるが、公共施設、住民の集会施設に行きたくなるような施設を改修すべき、高齢者に優しい施設に改修すべき、公民館を後れているので策を講じて頂きたい。

◇矢島議員

適切なお意見で、是非とも市当局に伝える。

問（市民）

守る会で自主防災組織を組織化したが、地域の方の年齢情報が個人情報関係で教えてもらえない。どこに子どもがいるのか高齢者がいるのか分からない。自主防災を作っても意味がない。どうなっているのか。

◇次藤議員

防災組織の組織化にむけて補助金を出している。個人情報に関してはお答えできないが、自助・共助・公助そして互助がある。

自主防災とは離れるが、地域のコミュニティ豪雪の件で市はボランティア精神でやっている方に対しどういうお助けをしたらいいか、ご意見を頂きたい。

◇伊藤議員

個人情報の問題は、岩根のみずきが丘町内会でも同様にある。市役所に問い合わせをしたら、個人情報だからと教えてもらえなかった、民生委員に対しても同様の回答だった。

問（市民）

自主防災企画は作った。

各班長は、だいたい、どこにどういう家族が住んでいるかは、ある程度知っている。

ところが、それを共通認識として書類に残し、皆で持とうとすると、個人情報保護のためできない。結局、書類に残せないのが現状である。

問（市民）

地域では、みんなで助け合える。回覧板が回る範囲で、ネットワークを構築すれば解決するのではないかと。行政区長、町内区長の任期が1年で終わってしまう。5年くらいの任期で相談員制度を設けてネットワークづくりを行えば良いのではないかと。行政区長の補佐的な役割の方でも配置したら良いのではないかと。思う。

◇佐々木議員

議会でも地域コミュニティの問題は同感である。今後、調査研究を行っていく。

【意見交換会】「その他」

問（市民）

公民館の移転問題について、決まっているような話だが、公民館・公共施設は震災の経験から高台に作るのがベターでは。候補地について住民は全く聞いていない。噂でしか聞いていない。ノーサイドにして頂きたい。例えば、住民（高木地区）の意見を聞いて3つの候補地を挙げ、その中から住民が決めるとか、住民の納得する形で進めてほしい。今の状況はここに造るから使ってくれというスタンス。それでは困る。今回の候補地についてはみんな反対である。

◇作田議長

みんなの意見を聞くのが一番である。議会のメンバーでも疑問視している問題がある。避難所になるのか、堤防の嵩上げはしているが内水のポンプがあるが今までより水かさがあるのではないかと、集中豪雨が局所的に多い、避難所として適切な場所なのか。

本宮市は財政再建をしており、現在は調査中で、価格・補償金がでてきていない、今後、議会として判断・対応していく。

問（市民）

市議会には決定事項のような話を聞いた。筋であれば利用する住民にまず話をして市議会に提案すべきでは、住民無視の大きな問題である。議員はもっと強く態度を取るべきで

はないか。

◇作田議長

会派代表者会議の中で、今回の話が出てきた。場所は全く知らなかった。説明会を行ったとは聞いている。

問（市民）

一般の方は聞いていない。今回の問題は、高木地区の議員は、すぐに高木地区の方に対し意見交換を行うべきではなかったか。

◇次藤議員

今回の件は7月18日の会派代表者会議で知らされた。その前に合併支援道路ができるので平成29年度には完成を目指すとは聞いている。

経過説明ではあるが、場所については市に相談をしたことはある。現在の高木地区公民館の上なのか近隣なのか早く考えないといけないのではないかと聞いた経緯はある。

市では候補地は3か所程度考えていて、広くて遺跡が出ないところとは聞いていた。

地域の住民の皆様に早急に説明会を開くようには要望した。以前に高木字前田地区の瓦礫置場を仮置場にしたい旨の説明会に参加した方（団体長）に、市で2回程少人数ではあるが説明会を行った経過がある。

9月定例議会に今回の候補地の調査費用として上程している。平成27年度には、今回の高木公民館の売買契約をしたいとの説明を受けた。

問（市民）

具体的に区長が各区の住民に対して説明を行っていない。具体的な話をしていないのではないか。行政の責任者が行っているとは思いますが、市議会で監視する強い態度で是非臨んで頂きたい。

問（市民）

住民を無視してどんどん進んでいる。まずノーサイドにして。いろいろな話・情報を聞いている。議員は何をしているのかという話をしている方もいる。今の候補地は水があがったら車は大丈夫か？高木地区の住民の話を聞いてほしい。高木地区の住民は怒っている。もう一度最初から進めてもらいたい。

問（市民）

合併支援道路3回説明会を行っている。簡単に言うと手順が全くいい加減である。本宮市総合計画に住民と協働でまちづくりをしようと言っているのではないか。市担当者に聞いて

たが市の担当者も分からないと聞いている。首長独断で住民無視の市政をしている。不動産鑑定手数料・基本設計費が上程されているが、市の担当者が分からない、議員も分からない、首長しか分からないというのはどうか。

現在、高木地区の保育所・旧高木小学校（公民館）が立っている場所の昔の経緯を踏まえて頂きたい。急がば回れという言葉があるが、100%とはいかないが、振り出し（原点）に戻った方が早いということもある。

問（市民）

合併支援道路もそもそも必要か。東西道路ではなく南北道路で水が上がらない道路も必要である。冠水しない道路が必要である。上の橋の先線の話もある。高木地区公民館候補地は水害に対して大丈夫か。

◇矢島議員

手順を踏んでいない件、議会でも十分に議論した。議員の立場では対話・協調を求めた。民主主義の原理で議会にて採決した経緯がある。地元の意見も十分に聞くべきだと要請している。実はそうではないと残念と思っている。今後とも地元議員と力を合わせて意見が通るように議会でチェックしていく。議員は代弁者として市に要求していく。

合併支援道路については市議会として国・県に対し要望していく。

◇次藤議員

公民館の候補地については、高木地区の皆様が良いと思う事が一番良い。白紙という声が多ければ白紙にすべきと思う。

私個人の意見を述べる場ではないが、若夫婦・消防団・若連会では今回の選定地が良いと意見もある。

問（市民）

賛成の方もいるかもしれないが、かたちに分かるようにして頂きたい。区で集約したのか？説明会を開きました賛成した人もいましたでは駄目である。集会の内容を広報誌で出すとか、この議事録に関しても、今後お示しするとか。今後、議論すべきではないか。

議員は全住民の声を聴いてくれると思っているので意見の集約の仕方を考えて頂きたい。

◇佐々木議員

高木地区公民館の件は、市に求める部分、議会として対応する部分は市に十分に対応していく。貴重な意見を頂いた。一つの意見として提示していく。

◇矢島議員

公民館は憩いの場・学びの場である代表者会議の代表で今後、市の見解を正していく。

問（市民）

希望と要望を述べる。

市民との意見交換会は去年も出席した。その結果はどうなったのかきちんと出してほしい。私自身は、岩根、和田、高木と、今日で3会場目の出席である。

議会の報告が必要である。市民の意見を聞いただけはどうか。

今回の候補地は、若い人が住む定住促進住宅にするのには良いと思うが、皆が避難する場所ではない。地区の公民館としてはふさわしくない。その辺もふまえて議会皆さんも意見を統一しながら、議会と市長は、対立するところは対立する。

さらにお願として、本宮市長選挙と本宮市議会議員選挙を同時に行って頂きたい。費用が安くなる。

◇佐々木議員

要望として承る。

問（市民）

本宮駅周辺検討特別委員会は議長を除く議員全員が所属している。

お願いしたいのは、西口広場が計画されているが、東口広場はJR 二本松駅と同様で車優先であり、人を優先していない。

今後、西口広場をつくる場合、人に優しく、使いやすさ・分かりやすさを出して頂きたい。是非お願いしたい。

以上で終了

◇矢島議員

閉会挨拶

【午後 8 時 30 分閉会】